

様式第 1 (第 4 条関係)

特定施設設置 (使用、変更) 届出書

年 月 日

様

氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名

届出者

ダイオキシン類対策特別措置法第 12 条第 1 項 (第 13 条第 1 項又は第 2 項、第 14 条第 1 項) の規定により、特定施設について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		※ 整理番号	
工場又は事業場の所在地		※ 受理年月日	年 月 日
特定施設の種類		※ 施設番号	
△特定施設の構造	大気基準適用施設にあっては別紙 1、水質基準対象施設にあっては別紙 4 のとおり。	※ 審査結果	
△特定施設の使用の方法	大気基準適用施設にあっては別紙 2、水質基準対象施設にあっては別紙 5 のとおり。	※ 備 考	
△発生ガス又は汚水若しくは廃液の処理の方法	大気基準適用施設にあっては別紙 3、水質基準対象施設にあっては別紙 6 のとおり。		

- 備考 1 特定施設の種類の欄には、大気基準適用施設にあってはダイオキシン類対策特別措置法施行令別表第 1、水質基準対象施設にあっては同令別表第 2 に掲げる号番号及び名称を記載すること。
- 2 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
- 3 ※印の欄には、記載しないこと。
- 4 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
- 5 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本工業規格 A 4 とすること。

別紙 1

特定施設（大気基準適用施設）の構造

工場又は事業場 における施設番号			
特定施設番号及び名称			
型 式			
施設の設置場所			
設置年月日		年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日		年 月 日	年 月 日
工事完成予定年月日		年 月 日	年 月 日
使用開始予定年月日		年 月 日	年 月 日
規 模	原料の処理能力 (t/h)		
	変圧器の定格容量 (KVA)		
	炉の容量 (t)		
	焼却能力 (kg/h)		
	火床面積 (m ²)		
その他参考と なるべき事項			

- 備考 1 設置届出の場合には工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 規模の欄には、令別表第 1 に掲げる施設に係る項目について記載すること。
- 3 特定施設の構造図とその主要寸法を記入した概要図を添付のこと。

別紙 2

特定施設（大気基準適用施設）の使用の方法

工場又は事業場 における施設番号			
使用状況	1日当たりの使用 時間及び月使用日 数等	時～ 時 日/月	時～ 時 日/月
	季節変動		
原料及び燃料（ダイオ キシン類の 発生に影響 のあるもの に限る。）	種類		
	使用割合		
	原料又は燃料中 の塩素分の成分 割合（%）		
	1日の使用量		
排出ガス量（m ³ /h）		最大 通常	最大 通常
排出ガス温度（℃）			
排出ガス中の酸素濃度（%）			
排出ガス中のダイオキシン類 の濃度（ng-TEQ/m ³ ）		最大 通常	最大 通常
その他参考となるべき事項			

- 備考 1 廃棄物焼却炉にあっては、種類の欄には、汚泥、廃プラスチック類、紙くず、木くずその他の廃棄物の種類を、使用割合の欄には、廃棄物の種類ごとの焼却割合を記載すること。
- 2 排出ガス量については、温度が零度であって圧力が1気圧の状態（以下「標準状態」という。）における量に、排出ガス中のダイオキシン類の濃度については、標準状態における排出ガス1立方メートル中の量に、それぞれ換算したものとする。
- 3 ダイオキシン類の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。
- 4 その他参考となるべき事項の欄には、排出ガスの排出状況に著しい変動のある施設についての一工程中の排出ガス量の変動の状況を記載すること。

別紙 3

発生ガスの処理の方法

工場又は事業場における施設番号		
名称及び型式		
発生ガスの処理の内容		
処理の系統		
施設の設置場所		
設置年月日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	年 月 日	年 月 日
工事完成予定年月日	年 月 日	年 月 日
使用開始予定年月日	年 月 日	年 月 日
その他参考となるべき事項		

- 備考 1 設置届出の場合には工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 発生ガスの処理に係る施設の構造図とその主要寸法を記入した概要図を添付すること。

別紙 4

特定施設（水質基準対象施設）の構造

工場又は事業場における施設番号		
特定施設番号及び名称		
型 式		
構 造		
主要寸法		
能 力		
配 置		
設置年月日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	年 月 日	年 月 日
工事完成予定年月日	年 月 日	年 月 日
使用開始予定年月日	年 月 日	年 月 日
その他参考となるべき事項		

- 備考 1 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。
- 2 設置届出の場合には工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。

別紙5

特定施設（水質基準対象施設）の使用の方法

工場又は事業場における施設番号				
設置場所				
操業の系統				
使用時間間隔				
1日当たりの使用時間				
使用の季節的変動				
原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び1日当たりの使用量				
汚水又は廃液の汚染状態	通常	最大	通常	最大
汚水等の量（m ³ /日）	通常	最大	通常	最大
その他参考となるべき事項				

別紙6

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号									
処理施設の設置場所									
設置年月日		年 月 日		年 月 日		年 月 日		年 月 日	
工事着手予定年月日		年 月 日		年 月 日		年 月 日		年 月 日	
工事完成予定年月日		年 月 日		年 月 日		年 月 日		年 月 日	
使用開始予定年月日		年 月 日		年 月 日		年 月 日		年 月 日	
種類及び型式									
構造									
主要寸法									
能力									
処理の方式									
処理の系統									
集水及び導水の方法									
使用時間間隔									
1日当たりの使用時間									
使用の季節変動									
消耗資材の1日当たりの用途別使用量									
汚水等の汚染状態及び量		通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	量 (m ³ /日)								
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法									
排出水の排出方法									
その他参考となるべき事項									

- 備考 1 設置届出の場合には工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 排出水の排出方法の欄には、排水口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

○ 総理府令で定める事項

- 1 ダイオキシン類発生抑制のための構造上の配慮及び運転管理に関する事項
- 2 緊急連絡用の電話番号その他緊急時における連絡方法
- 3 大気基準適用施設にあつては、排出ガスの発生及び排出ガスの処理の系統並びに排出ガスの測定個所
- 4 水質基準適用事業場にあつては、用水及び排水の系統

○ ばい煙量等に関する計算書

項 目		記 号	単 位	計算値	説明及び計算式
燃 料 の 種 類		—	—		焼却炉の場合は焼却物の種類
燃 料 使用量	最 大	Wf	kg/h		
	通 常	Wf'	kg/h		
燃 料 成分等	水 素 分	h	重量%		燃料分析表の数値（低位発熱量の計算に使用した場合に記入）
	水 分	w	重量%		〃
	高位発熱量	Hh	k cal/kg		
	低位発熱量	Hl	k cal/kg		高位発熱量からの計算も可（注1）
空 気 比		m	—		
燃料1kgあたりの理論空気量		Ao	m ³ /kg		注2参照
燃料1kgあたりの理論排出ガス量		Go(湿り)	m ³ /kg		注2参照
燃料1kgあたりの実際燃焼排出ガス量		Gwet	m ³ /kg		Gwet=Go+(m-1)Ao
		Gdry	m ³ /kg		Gdry=Gwet-(11.2h+1.244w)/100
排 出 ガス量	最大	湿 り	G	m ³ /h	G=Gwet×Wf
		乾 き	〃	〃	G×(1-水分量(%)/100)
	通常	湿 り	G'	m ³ /h	G' =Gwet×Wf'
		乾 き	〃	〃	G' ×(1-水分量(%)/100)
煙 突	高 さ	Ho	m		地上からの高さ
	頂口径(内径)	d	m		角形の場合は縦、横の寸法
	頂部断面積	A	m ²		A=(π/4)d ² (円形の場合)
排出ガス温度(煙突出口)		T	K		T=t(°C)+273

(注1) 低位発熱量計算式

固体・液体燃料の場合 $Hl=Hh-600(9 \times h+w)/100 \text{ [k cal/kg]}$
--

(注2) Go, Aoの概略値

燃 料	Go	Ao
固 体 燃 料	$0.89Hl/1000+1.65 \text{ [m}^3/\text{kg]}$	$1.01Hl/1000+0.5 \text{ [m}^3/\text{kg]}$
液 体 燃 料	$1.11Hl/1000 \text{ [m}^3/\text{kg]}$	$0.85Hl/1000+2.0 \text{ [m}^3/\text{kg]}$

※ ガス量については、温度が零度であつて圧力が1気圧の状態（以下「標準状態」という。）における量に換算したものとする。